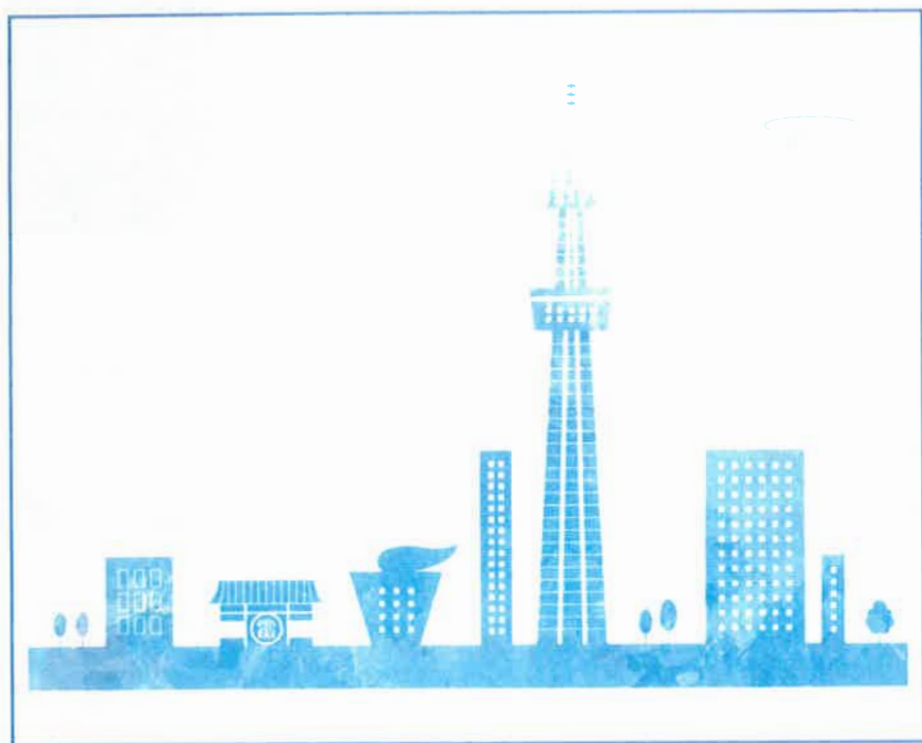


永福の本棚

2021年4月号



特集

落語と絵と下町と

<特集>

落語と絵と下町と



『ミステリー名演集 落語推理 迷宮亭』

山前 譲／編
光文社文庫／光文社
請求記号:EGヤ
ISBN:978-4-334-77415-8



落語と推理小説の縁は古く深い——
落語中興の祖・三遊亭円朝は、翻訳ミステリーを高座にかけ、「青い眼の噺家」と呼ばれたイギリス人・快樂亭ブラックは、探偵小説を口述筆記で世に残した。
本書は、ブラックの犯罪小説を含む、古典的名作から気鋭の秀作まで、落語にまつわるミステリーを集めた異色のアンソロジーです。

『パンパステルではじめる! ふんわりやさしいパステル画』

船本 清司／共著
マール社
請求記号:725フ
ISBN:978-4-8373-0187-5



新しい画材「パンパステル」を使ったパステル画の技法をわかりやすく解説した入門書です。
パンパステルは、水を使わず、色も混ぜやすいうえ、消しゴムで簡単に消すことができる、とても扱いやすい画材ですので、初めてのかたでも気軽にチャレンジできます。
この時期によく似合う、ふんわりやさしいパステル画の世界を楽しんでみませんか？

4月24日(土)と25日(日)に行われる施設オープニングイベントで、小説家で落語家の畠山健二先生と、絵本作家の塚本やすし先生をお招きします。
畠山先生も塚本先生とも出身が墨田区という共通点があります。
ふたりの先生にちなみ、落語やイラスト、下町の本をご紹介します。

『下町はなぜ人を惹きつけるのか? 「懐かしさ」の正体』

三浦 展／著
光文社
請求記号:A(光文社新書1098)
ISBN:978-4-334-04505-0



「東京の下町」といえば、どんな場所を思い浮かべますか？
もんじゃで有名な中央区月島？ 東京スカイツリーがそびえ立つ墨田区押上？ あるいは「猫しかとおれないような狭い道」、
「下請けの小さな町工場」、「時代劇で出てくるような、貧しいけれど人情に溢れる長屋」等々。
いつの頃からか、「下町」という単語には、どこか懐かしい響きがともなうようになりました。
本書は、江戸以来の下町が、明治、大正、関東大震災を経て、現代人がノスタルジーを感じるようになるまでを、16の街の歴史とともに紐解きます。

『この落語家をよろしく いま聴きたい噺家イラスト&ガイド 2010』

広瀬 和生／著
講談社
請求記号:779. 1七
ISBN:978-4-06-216187-9



落語って面白そう。
でも、たくさん噺家がいる、誰のどの噺を聞けばいいのかわからない…。
そんなかたにうってつけ。ほとんど毎日ナマで落語を聞きに行っている著者による、噺家ガイドの決定版です。

図書館からのお知らせ

2021年4月、永福図書館は移設しました。
コミュニティふらっと永福(旧永福体育館)の2階です。
新しい場所でも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

ご来館の際は、マスクの着用と手指の消毒をお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染予防のため、イベント開催時に以下の対策を行います。

- 会場の換気
- 参加者のマスク着用の呼びかけ
- 開催前後の手洗いの呼びかけ
- ボランティアおよびスタッフのマスク着用

おはなしかいやその他のイベントは、新型コロナウイルスの感染状況などにより、中止とさせていただきます場合がございます。あらかじめご了承ください。

皆様のご協力をお願い申し上げます。

- 開館時間 : 午前9時～午後9時
- 4月の休館日 : 4月1日(木)、15日(木)

〒168-0064 永福3-51-17
電話 03-3322-7141